

# 横浜訓盲学院 だより

第27号 (2013年3月号)

2013年2月28日発行

〒231-0847 横浜市中区竹之丸181番地 URL : <http://kunmou.jp/>

事務部

TEL045-641-2626 FAX045-641-2627  
E-mail : jimu@kunmou.jp

普通部

TEL.FAX045-662-1710  
E-mail : futsuu@kunmou.jp

理療科

TEL.FAX045-662-1833  
E-mail : riryuu@kunmou.jp



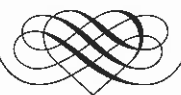
## 教育方法の転換

学院長 中澤 恵江

スポーツにおいて指導の名の下に行われた暴力・暴言の問題が、日々大きく報道されています。逃れることのできない場におかれた生徒の尊厳を侵し、心身を傷つけるものとして、これらは人権の視点から糾弾されると同時に、指導者の指導力不足および自らの感情を制御できない表れとしても非難されています。

このような状況の中、大きな注目を浴びているのは、体罰とは相反する方法で確実に成果を上げているコーチ達からの報告です。長年にわたり暴力に頼らず、実績を積み上げてきた方々が共通して強調していることは、「服従ではなく、自立こそ強さにつながる」、「叱るより、強みを伸ばす」、「問題点については、本人の気づきを後押しする」、「目先の結果を焦らず、長い目で育てる」等々、どの教育においても核となるものです。

生徒の人としての尊厳を守り、生徒が自分を信じて自立に向かっていけるよう、それぞれの教育現場が工夫し、成果を上げ、広く発信を続けていくことが、教育の場から暴力を無くしていく推進力になるように思います。



「わたしは復活であり、命である。」

ヨハネによる福音書11章25節



《3月の聖句》

イエス・キリストは、人生の教師として教えるだけでなく、イエスを神と信じる者に、死に負けない復活の命を贈られるのです。

## クリスマス祝会

12月22日(土)にクリスマス礼拝・祝会が行われました。礼拝では賛美歌に合わせて理療科の生徒が演奏するトーンチャイムの音色が会場全体に響き渡っていました。

祝会では小中グループによるイエス・キリストの誕生劇『ページェント』からはじまり、幼小グループによる『大きなカブ』、高等部普通科による『アマリニ ジョーズナ アマリリス!』、専攻科生活科による『はたらきもののセイカツカーズ』の劇が発表されました。この日のために毎日練習を重ねた成果を、舞台の上で一人一人がさまざまな表現をして発揮してくれました。

当日はあいにくの天候ではありましたが、保護者の方々、地域の方々など、大勢の皆様にご来校いただき、みんなで楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



## スケート教室

1月8日(火)普通部の生徒を対象に神奈川スケートリンクにてスケート教室を開催しました。みんなでスクールバスに乗り込んで朝の会をしながら気持ちちはもう“ルン・ルン”高まる気持ちを抑えながらスケート場に向かいました。

参加した生徒達にとってはこれまで体育の学習でローラーブレードの練習をしてきた成果を生かす絶好の場となりました。先生と一緒に一生懸命滑る生徒、友だちと手をつなぎながら楽しそうに滑る生徒たち。

みんな寒そうに滑り始めていましたが、終わってみたら汗ビショリ!!楽しく充実した時間を過ごすことができました。

保護者の皆様、準備などご協力ありがとうございました。



## 花粉症

花粉症の方は、この時期になるとくしゃみ・鼻水・鼻づまり・目の痒みなどの症状で、つらい日々を過ごされてはいませんか?私達の身体は空気中に飛んでいる花粉が入ると、自然に涙や鼻水、くしゃみを出すことで花粉を排除しようとしています。花粉症はこの免疫反応が過剰になったものです。要因として、近年の生活様式の欧米化・食生活の変化・スギ花粉量の増加・大気汚染やストレスの増加などがあります。

ここで簡単ではありますが、これらの症状を軽くするためのツボを紹介したいと思います。

眼の症状には、睛明(せいめい:目頭と鼻の付け根の骨との間)、攢竹(さんちく:眉毛の最も内側)、鼻の症状には、迎香(げいこう:小鼻の最も膨らんだ所の横のへこみ)、上星(じょうせい:前髪の生え際中央から親指1本分入ったところ)などがあり、少しズーンとする位の力で圧迫します。目や鼻のつまりを少しでもすっきりさせたい方は是非試してみてください。

## 学校開放「お餅つき」

1月26日(土)、横浜訓盲学院の新年の恒例行事となっている「お餅つき」が行われました。

今年の成人式の日には、ここ横浜でも大雪が降り、例年よりも一層の寒さを感じましたが、幸いにも「お餅つき」の日の天気は晴れ。近隣の方々、小さなお子さまからご年配の方々と、たくさんの方にご来場いただきました。

今年度もつきたてのお餅に温かい豚汁、甘酒、そして大福作りコーナーが企画され、参加された方々には喜んでいただけたことと思います。

毎年大勢の方々にお集まりいただき、また関係各所より餅米のご寄付・ご支援を頂き、横浜訓盲学院職員一同、心から御礼を申し上げます。

平成24年度の横浜訓盲学院学校開放は移動動物園、ハンドベルコンサート、お餅つきでした。次年度も地域のみなさまとの交流の場として横浜訓盲学院学校開放を楽しい行事にしていきたいと思ひます。本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。



## 季節行事「豆まき会」

2月1日(金)に少し早目の「豆まき会」を行いました。

スタートは、校内放送から流れてきた鬼の声!?なんと教室の外には赤・青・黄の鬼の姿が…。幼児、児童・生徒は、それぞれ準備した素敵な柀に豆を入れて、鬼を退治すべくいざ外へ。1階では、幼小グループ・小中グループ・専攻科生活科が、2階では高等部普通科のみんなが、それぞれ思いを込めて、「鬼は外!福は内!」と叫びながら、豆を力いっぱい鬼に向かって投げました。その甲斐あって、鬼は退散しました。

—安心したみんなの前に現れたのは、福の神です。福の神はみんなに『福(幸せ)』のおすそ分けをくれました。おすそ分けの中身は…、お菓子と福豆でした。大きな声と笑顔と福豆で無病息災を呼び込んで、今年も横浜訓盲学院は安泰です♪



## 視覚障害

### 知識

## 視覚に障がいのある人の情報収集について

全盲のご夫妻のご自宅にお邪魔したことがあります。見事に片付けられた室内を見て、「きれいにしていますね。」と言ったところ、『片付けておかないと、何がどこにあるのか分からなくなってしまうので。』というお答えでした。この一言にはいくつかの示唆があるような気がしています。

情報収集に関して、一般的に見える人は「全体的で、瞬間的」、見えない人は「部分的で、継時的」と言われます。例えば、本を読むときに、見える人は何文字か瞬間的に視野に入れながら読みますが、点字で触読する場合、一文字一文字ずつ指を移動しながら読んでいきます。「1文字目」があって2文字目があり、2文字目があって3文字目があるということです。また、見えない人の手引きをすると、「『ここ』の角を右に行って、しばらく行くとポストがあるので、そこを左に曲がって、三軒目が私の家です」というような説明を受けることがあります。また、全盲の先生と議論

してみても、その内容がとても理路整然としていて、筋道が通っているという印象を持ったこともあります。

視覚に障がいのある方の情報収集や認知や思考は、一本の糸の回路が道路や線路のようにいくつも張り巡らされているようになっているのかもしれませんが、『この、今』があって、そこからの発展・展開なのです(見えている私には、実は本当のところはよく分からないのですが)。情報収集や認知や思考、そして行動の『始点』なり、『拠点』がかなり重要になることが分かります。

これらのことから、本学院の幼児児童生徒たちとのかかわりを考えるときの留意点が見えてくるような気がしますが、思うに、冒頭のご夫妻の一言にたどり着きます。

子どもたちが心地よく、快適で、豊かな生活ができるような状況や環境づくりについて、保護者の皆様とともに考え合っていきたいですね。

# PTAバザー

11月17日(土)に横浜訓盲学院恒例のPTAバザーが行われました。昨年に続き、今年も雨の中の開催となりましたが、近隣の皆様をはじめ、保護者やボランティアの方々のご協力により無事に開催することができました。



バザー当日に向けて普通部の児童生徒たちが一所懸命に作ったクッキーやわらびもち、ペーパーウェイトやキャンドルは、色とりどりに包装され、各部の出店コーナーを綺麗に飾りました。また、理療科の3年生によるクイックマッサージも、ご来場いただいた方々の身体のごりをほくし、ご好評いただけたのではないかと思います。



雨の中、本学院へ足をお運びいただいた皆さまに心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

## 今後の行事予定

- 3月** 4日(月) 防災訓練
- 7日(木) 普通部卒業おめでとう会
- 15日(金) 理療科生徒会送別会
- 19日(火) 平成24年度卒業式・修了式
- 21日(木)～春休み
- 29日(金) 理療科新入生オリエンテーション
- 4月** 8日(月) 平成25年度入学式・始業式

## 平成25年度生徒募集

- 募集定員 (各部若干名)
  - 【普通部】 幼稚部・小学部・中学部  
高等部普通科・専攻科生活科
  - 【理療科】 高等部専攻科保健理療科  
高等部専攻科理療科
- 募集期間 (二次募集)  
普通部、理療科ともに3月6日(水)まで随時
- お問い合わせ  
普通部 TEL.045-662-1710  
理療科 TEL.045-662-1833

## 院外臨床実習のご案内

院外臨床実習とは、学院臨床室以外の場所で生徒たちがおこなう実習です。

日頃の感謝の気持ちを込めて、毎年、学院周辺の町内会館にてマッサージを行なっています。

是非ご利用下さい。



平成25年

- 3月4日(月) 鷺山竹之丸会館
- 5日(火) 豆口台上町会館
- 6日(水) 大和町町内会館
- 7日(木) 柏葉町内会館
- 8日(金) 麦田地域ケアプラザ

時間 9時30分～11時30分 料金 無料

◆お問い合わせ先◆  
各町内会まで

## 国家試験について

今年も2月23日及び24日の2日間で、あん摩マッサージ指圧師、はり師、灸師の国家試験がおこなわれます。1993年より、鍼灸・マッサージ師は厚生労働大臣によって免許が与えられる国家資格になりました。今回は、その第21回目の国家試験となります。

今年度の現役受験生は、60歳の定年退職をしてから入学した生徒、70歳で入学を決意した生徒等、医療や勉学に対し強い熱意を持った生徒達ばかりです。3年間の修業年限を無事にクリアし、集大成の場である国家試験を、彼らが受験できることを一教員として、理療科、学院としても嬉しく、誇らしく思います。また、この3年間、環境や年齢などに関わらず、『チャレンジ』する姿勢を在校生、我々教員も教えられました。

合格発表は、3月27日です。有終の美で飾れるよう祈願しています。

ご協力をお願い  
(平成25年度 賛助会員)

私どもの視覚障がい教育にご理解いただき、ご支援下さる団体・個人の方々の賛助会員を募らせていただいております。よろしくお願ひ申し上げます。

- 【年会費】 法人(1口)10,000円/個人(1口)1,000円(口数は問いません)
- 【お支払い方法】 ・郵便振替[加入者名]学校法人横浜訓盲学院(口座番号00200-5-40861)  
・現金
- 【その他】 会費以外に寄附金も有難くお受けいたします。
- 【お問合せ先】 横浜訓盲学院 事務部 TEL.045-641-2626